

<記入例>

年度 種類別明細書(増加資産・全資産用)

※所有者コード		※									所有者名		枚のうち	
													枚目	

異動区分	行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月	取得価額	耐用年数	減価残存率	価額	※課税標準の特例		※課税標準額	増加事由	摘要
											率	コード			
①	1	2		例)ロータリー	1	R4.6	700,000	7						1, 2 3, 4	
②	3			例)パソコン	1 2	H26.4	250,000 500,000	4							
③		2		例)フロントモア	1	H18.9	1,500,000	7							
④	9	6		例)ローカルバレー	1	H15.10	3,500,000	7							
⑤		2		例)太陽光設備(菊池市限府〇〇番地)	1	R2.2	6,500,000	17							
	6														
	7	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p><書き方></p> <p>①令和4年中に新規で取得した場合 → 異動区分に「1」、資産の種類、名称、数量、取得年月、取得価格、耐用年数まで記入してください。</p> <p>②記載内容が変わった場合 → 異動区分に「3」を記入し、変更部分を二重線で消した後、正しい内容を記入してください。</p> <p>③記載内容に変更等が無い場合 → 修正の必要はありません。</p> <p>④資産を処分・廃棄等した場合 → 異動区分に「9」を記入し、二重線で消してください。</p> <p>⑤太陽光設備を取得した(していた)場合 → ①新規取得と同様に記入し、名称の後に「(設備の所在地番)」を追記してください。</p> </div>													
	8														
	9														
	10														
	11														
	12														
	13														
	14														
	15	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>※申告時のご注意 田植え機、コンバイン、トラクター等 について、時速35Km/h以下のものは 軽自動車税の課税対象となりますので、 償却資産の申告の必要はありません。</p> </div>													
	16														
	17														
	18														
		小計													

←「農耕作業用トレーラ」に該当する資産は、同じ様に二重線で消してください。

注意 「異動区分」の欄は 1 新規 3 修正 9 抹消 の該当する番号を記入してください
「増加事由」の欄は 1 新品取得 2 中古品取得 3 移動による受け入れ 4 その他いずれかに○印を付けてください